



いいで町

150号

議会だより



新緑の中を駆け抜ける！

6月議会(第4回定例会)

6月議会定例会概要	P2
補正予算・条例	P3
一般質問	P4~5
総務文教常任委員会	P6
産業厚生常任委員会	P7
第3セクター等決算報告	P8~9
臨時会・八島議員逝去	P10
議会全員研修	P11
大規模林道開通式・あしがき	P12

別委員会を設置

概要

平成25年6月定例会は6月5日から10日までの6日間の会期で開催されました。

25年度各会計補正予算6件、条例改正4件、第三セクター等の決算報告など11件、議員発議1件及びその他2件の24件を審議し、いずれも原案のとおり全員賛成で可決しました。

一般質問は2人の議員がまちづくりをただしました。

25年度各会計補正予算

一般会計（第3号）

総額に8562万円を追加し、58億1222万円としました。

◎補正予算の主なもの

○東山工業団地道路舗装補修工事	500万円
○町民総合センター舞台吊物設備交換工事	570万円
○空き家処理業務	100万円
○畜産生産拡大支援事業補助金	910万円
○緊急県産稲わら確保対策事業	280万円
○緊急農村防災対策工事	400万円
○戦略的園芸産地拡大支援事業	157万円
○町道中ノ目南団地線道路改良工事	980万円
○歴史文化散策地駐車場整備工事	450万円

第4回
6月定例会

飯豊町議会 刷新特

条例の設定

◎飯豊町新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い必要な事項を定めるため

条例の一部改正

◎飯豊町畜産振興基金条例

平成26年12月から米沢牛の定義が改正され去勢牛が除外されるため

◎飯豊町特別職の職員の給与に関する条例

中小企業振興審議会委員を非常勤の職員に追加するため

◎飯豊町道の構造の技術的基準等を定める条例

関係法令の一部が改正されたため



NPOから社会福祉法人へ

指定管理者の指定

◎飯豊町福祉事業所「でんでん」の指定管理者「特定非営利活動法人(NPO)すぎな」が目的及び事業を継承しながら「社会福祉法人すぎな会」となったため改めて指定管理者の指定をするもの。

公有財産の取得

ロータリー除雪車
購入先

(株)KCMJ南陽営業所

取得価格 3045万円

飯豊町議会刷新 特別委員会設置

○設置の目的

議員の役割を明確にするため、議会基本条例を制定するなど、より町民と密着した活発な議会運営を図ることを目的とする。

○委員会構成

議長を除く議員全員
委員長 長沼 桂子
副委員長 後藤恵一郎



安全な雪道確保のために

一般質問

農業6次化がイイデを救う



鈴木敏夫議員

- 限界集落と農業6次化について
- 特別養護老人ホーム待機者解消策は
- 副町長の職務達成の決意と抱負は
- 第一小学校の全面改築について

質問 限界集落対策について、中津川地区は5年間で20・8%人口が減少している。どのようにとらえているか。また、農業の6次化の取組は。

活力回復事業に取り組んでいます。また、農業の6次産業に向け、生産者や地域が主体となっている取組みに支援の強化をしていきます。

重要な問題と認識

町長 人口減少の加速化が予定される中で、新たな対策として、専任の職員を中津川地区に配属し、過疎集落の

自主的な介護予防活動の体制を推進します。

質問 副町長の職務達成の認識と決意ならびに抱負は。

施策実現のため前進

副町長 これまでの行政経験を生かし、町長の力を結集して、施策の実現のため、前進することが使命と思っています。

質問 第一小学校全面改築の機会に特色ある学校建築とキャンパスの整備を。

改築検討委員会で基本構想を策定

教育委員長 本町の地形と気象的特性を十分考慮した、町内外に誇

れる学校施設になることを確信しています。

その他の質問

Q 直営で除雪業務をした場合、除雪費の試算金額は。

A 後日報告します。

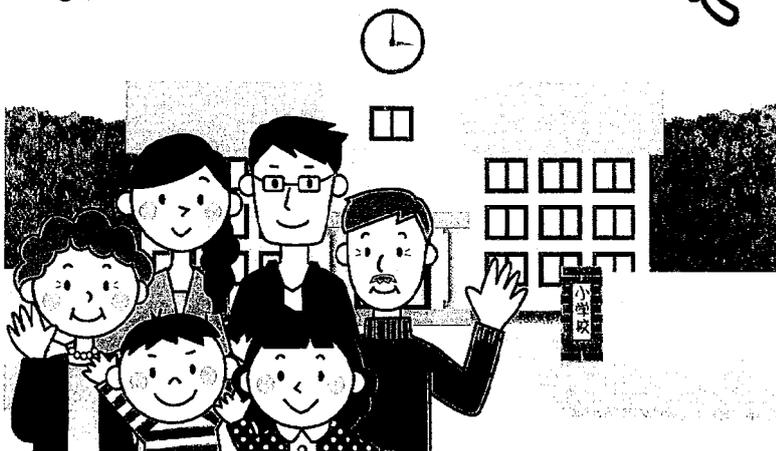
Q 農業の6次化対策の強化策は。

A 重要な懸案で、検討します。

Q 教育現場における体罰やいじめ対策は。

A 県教育委員会等と連携し指導して参ります。

明るい未来への架け橋に



一般質問

災害防止の点検・対策は



船山清一議員

質問 近年のゲリラ豪雨多発と豪雪の影響と思われる山腹崩壊が目立ちます。特に通称ダム道路では、県道に到達する崩落箇所があり、人命に関わる災害が想定されます。

町内にこのような危険箇所がどれ位あるのか把握しているか。

町長 現在、全国的に「道路防災点検」が行われています。豪雨、豪雪等の異常気象による災害を防止することを目的とし、道路法面の安定性等について詳細な点検を行いその結果を道路防災対策に反映していくもので

す。ダム道路区間でも10箇所程が取り上げられ、点検結果を踏まえた土砂崩落や雪崩に対応するための施設整備や要観察箇所としてパトロール管理をしています。

また、ゲリラ豪雨により土石流が発生する恐れのある「土石流危険渓流」についても県の基礎調査で「土砂災害危険区域」に指定されています。

質問 危険箇所と認められた所について具体的な対策計画はあるのか。
また、危険箇所として指定された箇所や区



大雪崩発生場所

域について地域住民に周知しているのか。

地域整備課長 まだ住民にお知らせまでは至っていません。

今後、急いで対応していきます。

質問 ハザードマップ等を作って知らせれば住民自ら細心の注意を払って危険回避に役立つと思われるので、ぜひ実施してほしい。

地域整備課長 お知らせの方法等も併せて検討していきます。

河川敷の雑木除去を

質問 河川敷の雑木繁茂が著しく川面が見えないところが多くある。えんじゅ、偽アカシヤ、柳等成長の早い木々が多く、景観を損ねている。

また、増水時の流路を塞ぎ、川岸の崩壊を招き、熊やカモシカの隠れ家となっている所もある。

近年、子供達が容易に川遊びのできる場所が無くなっている。

以前は、膝まで水につかっていたのかじか取り、石拾い、水切りなど川

に親しむ機会が多くあったが最近ほとんど無い。

容易に近づける場所がないからです。

子供達が安全に川遊びのできる場所を流域何箇所かつくれなにか。

町長 ご指摘のとおり通水断面の確保、景観や野生動物の生態系を含む河川環境の面からも伐採除去が必要と考えます。

県管理河川等に係る要望事項として今年度の協議議題に掲げ要望しています。

飯豊橋から長瀬橋までの区間は河川区域内に、多くの個人所有地があり解決しなければならぬ事があり、直ぐにはいかないが、管理者の県に要望します。

遊休公共施設の利活用は

総務文教常任委員会

各課からの報告

総務企画課

◆遊休公共施設の利活用課題別検討委員会を開催しました。

飯豊分校だけでなく、すべての遊休公共施設の耐震調査をして基本姿勢を出すこととしました。

飯豊分校の今年度維持管理について県と協議した結果、9月末まで全て撤退するが今年度の降雪期の維持管理は県が行う方針が示されました。

住民税務課

◆国民健康保険運営協議会を開催しました。

その後の会議で国民健康保険の県一本化の話題にふれ、県一本化になった場合、飯豊町の国保税の影響について情報交換をしました。

教育文化課

◆8月23日～25日 第40回東北総合体育大会

山岳競技会が本町スポーツセンターで開催されます。

これに係る県予選会が6月15日同スポーツセンターで開かれます。

◆第2小学校PTAが優良PTAとして県からの表彰が決定しました。

7月6日PTA指導者研修会で表彰されます。

◆7月13日～14日めざまの里カントートが開催されます。14日午後「飯豊山の四季」のストライド映写と全員合唱が行われます。

質問と答弁

問 添川小学校で「今後の学校の在り方」アンケート調査を実施し任意回答で14名の未提出者がいたと聞いたがどうしてか。

答 2月23日授業参観日に父兄に対し協力要請し3月8日に回収、回収率69%でした。保護者の一部に趣旨の理解が得られなかった。

問 回答がすべての集約ではないが半数の方が課題があるという意見でした。

問 一連の学校荒らしに関して事後の説明報告がないと防犯協会から苦言があった。

防犯の意識を高めるために防犯協会に青パトを提供してはどうか。青パト運用方法はど

うなっているのか。

答 事件後防犯協会に連日パトロールをしていただいた。総会に出席して報告すべきだった。

青パトは日程を調整の上、活用を促進していきます。

問 公共施設やLDF等の活用も検討すべきではないか。

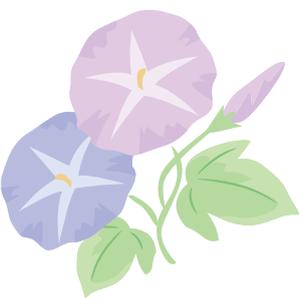
答 LDFは内部も含め現地踏査をしました。非常に広くまだまだ使える施設です。地元企業はじめ、ネットを通して活用を呼びかけています。

問 25年度職員採用試験の結果、採用にもれた人の試験結果の内容を開示している所もある。本町でも必要ではないか。

答 全ての受験者を開示すると本人の不利益になる場合がある。先進的な市町村もある。本人から開示請求があれば対応したい。



有効利用が待たれるLDF



そば工房 “再開”

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林振興課

◆林道飯豊松枝岐線・一の木線の、開通式が6月15日に開催されました。

◆2年間休業の西高峰そば工房を、林道開通に合わせて、高峰地区有志8人で再開します。

営業日 土・日曜日
時間 11～14時

商工観光課

◆福島からの観光客に大規模林道開通と同時におもてなしを（町割引券の配布・白川ダム湖畔公園のイベント案内・記念品の贈呈・中津川村づくり協議会を中心に、歓迎振る舞い、山菜祭り等）行います。

◆山形若者ボランティアアキヤラバン隊に飯豊町が選ばれ、40名が活動します。（8月31日



再開したそば工房

から9月1日）

地域整備課

◆ロータリー除雪車購入を予定しています。

◆水道水異臭対策を毎週月曜日に検査しています。（5月15日に活性炭を注入）

◆新潟山形南部連絡道路建設促進同盟会総会を5月30日に行いました。住民大会を小国町

で10月14日に開催します。

◆住宅リフォームに21件の申請がありました。46%の執行率です。

健康福祉課

◆戦没者追悼式を7月16日に行います。

診療所

◆樁診療所で水曜日午後にも診察します。

質問と答弁

問 緊急農村防災対策事業補助金400万円について伺う。

答 平成17年に整備して平成19年から作付している。何年も経過しているのに、県・町が負担するのはおかしいのでは。（白川・野川土地改良区は、賦課金の中で管理している）

問 林道開通で、いかに本町に集客するか、今年が勝負と考える。集中してイベントを組んでは。

答 商店会の協力を得ながら、町内のものを多くの人に知って頂き動向を見て検討します。※DCも利用します。

問 豆腐工房の現状は。

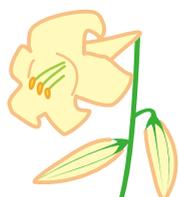
答 県と協議の結果、防災対策費で対応します。

今後、事前協議、現場確認、県、土地改良区と協議し対応します。

問 そば製粉所の運営はどうなるのか。

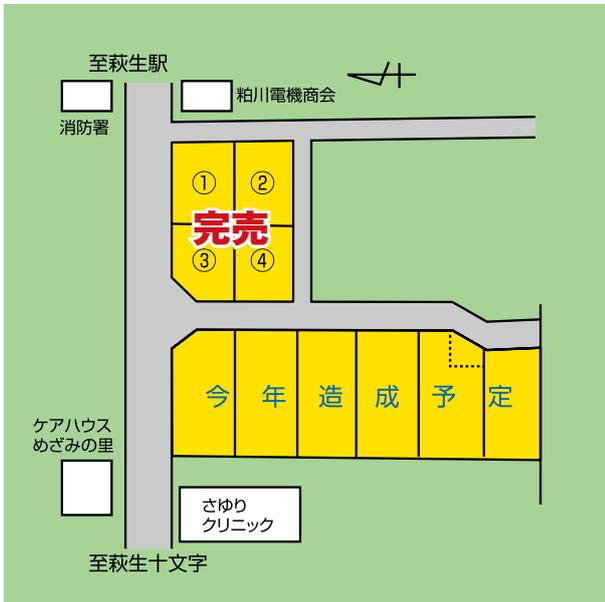
答 これまでと同じ運営です。連絡をすれば平日も可能、製粉手数料は200円/kgです。

※DC⇨JRグループと自治体、地元観光業者等が協働で実施する大型観光キャンペーン



土地開発公社 平成24年度 第3セクター 決算報告

平成24年度土地開発公社及び第3セクター5社の決算が今定例会に報告されました。土地開発公社では、「中の目南住宅団地」4区画の造成が完了し完売しました。残り6区画は引き続き造成中です。また、第3セクター（町が50%以上出資する会社）においては、各会社とも前年度に引き続き単年度黒字決算となりました。経営努力の成果がみられ、議会としても評価しています。



飯豊町土地開発公社 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
完成土地等売却収入	11,719
完成土地等売却原価	16,264
開発中土地売却収益	0
販売費及び一般管理費	137
特別損失	0
事業外収益	33
当期利益	△ 4,649

有限会社どんでん平ゆり園 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	48,296
売上原価	13,602
販売費及び一般管理費	29,291
営業外収益	1,138
営業外費用	0
当期利益	6,355



(有)エルベ 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	44,073
売上原価	13,639
販売費及び一般管理費	29,804
営業外収益	121
営業外費用	202
特別利益	0
当期利益	476

(株)緑のふるさと公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	128,254
売上原価	31,944
販売費及び一般管理費	94,811
営業外収益	1,198
営業外費用	1,163
特別利益	0
当期利益	1,348



◆ エレベーター新設により賑わう各施設 ◆

(株)飯豊町産業開発公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	227,054
売上原価	74,671
販売費及び一般管理費	154,385
営業外収益	4,500
営業外費用	417
特別損失	0
当期利益	1,893

飯豊めざみの里(株) 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	582,277
売上原価	350,550
販売費及び一般管理費	231,726
営業外収益	2,502
営業外費用	1,019
特別利益	0
当期利益	818

八島伝内町議 逝去



故
八島伝内 議員

去る6月14日公立置賜総合病院において、八島伝内議員が逝去されました。

6月16日に葬儀、告別式が執り行われました。議員は温厚篤実な人柄や卓越した識見による指導力、さらに地方自治体を取り巻く諸課題に積極的に取り組みました。また、地方自治の振興発展に多大な功績をふまえ、町内外から多数の会葬者が議員の逝去を悼みました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

*おもな略歴

- 平成15年8月～4年間 総務文教常任副委員長
- 議会広報特別委員
- 行財政改革特別委員

平成19年8月～4年間

- 産業厚生常任副委員長
- 置広行政組合議員
- 総務文教常任委員長
- 議会運営委員
- 議会広報特別委員
- 合併研究検討副委員長
- 第3セクター調査検討特別委員
- 議会刷新特別委員

平成23年8月～

- 総務文教常任委員
- 産業厚生常任委員長
- 議会運営副委員長
- 置賜広域行政組合 第二分科会副委員長
- 活性化検討特別委員
- 議会刷新特別委員

第3回 臨時会

4月11日第3回臨時会を開会し、専決処分事項の承認2件、補正予算及び条例改正2件を審査、いずれも原案通り承認可決しました。

飯豊町一般会計 補正予算

道路ストックの総点検業務、地域福祉計画策定経費等に1310万円を追加し、57億2660万円とし、その財源として国庫補助金等を充てるもの。

条例の一部改正

○飯豊町税条例及び飯豊町国民健康保険条例

地方税法の一部を改正する法律の公布及び後期高齢者医療制度の改正によるもの。

第5回 臨時会

6月27日第5回臨時会を開会し、条例3件補正予算8件、あわせて11件を審査。賛成多数で可決しました。

条例の認定及び一部改正

○飯豊町一般職の給与の臨時特例に関する条例

国の方針に準じ、7月1日から来年3月31日まで。削減率は主事補・主事の2級までを4・77%、3級以上の主任から課長までを7・77%とした。このほか課長らの管理職手当を10%削減する。

○飯豊町特別職の給与に関する条例

○飯豊町教育長の勤務条件に関する条例

期間7月1日から来年3月31日まで町長、副町長の給料をいずれも10%削減する。

飯豊町一般会計 補正予算

歳入歳出それぞれ2690万円を減額し歳入歳出予算の総額を57億8571万円とするもの。人件費の減額です。

その他の補正予算

○飯豊町国民健康保険特別会計外5特別会計補正予算並びに水道事業会計補正予算の7会計の補正は、人件費の減額が主な内容です。

今回の条例改正により一般職の給与は9カ月間国の水準を100としたうえラスパイルズ指数は106・1から98となります。

全議員視察研修報告

平成25年6月18日から20日までの日程で、山梨県身延町、長野県飯島町において視察研修を実施しました。

第1日目 身延町

平成16年9月、下部町、中富町と合併して新たに身延町として発足した町で、人口は過去30年間に半減し現在14,282人。県の面積の6・8%を占め、南北を流れる日本三大急流の富士川を中心に広がり、随所に観光地や文化・歴史的遺産が点在し、一年を通して全国から参拝者が訪れる日蓮宗総本山・身延山久遠寺などで有名な町です。

主に「議会活性化の取り組みについて」研修し活発な意見交換をしました。平成21年12月に設置した「議会活性化等調査検討特別委

員会」の現在までの経過説明の中で、「議会基本条例」制定の前に現在実施している活動内容の検証や研修を進めているとのことでした。

本町議会は、6月定例議会で設置した「飯豊町議会刷新特別委員会」で、より活発な議会運営を図るため、この研修を参考にしながら検討していきます。



◆ 身延町視察 ◆

第2日目 飯島町

長野県上伊那郡の南部に位置し、西に中央アルプス南駒ヶ岳、東に仙丈ヶ岳を中心に南アルプスを遠望する「二つのアルプスが見える町」。人口9,559人、農業を基幹産業とし、稲作や栗などの果樹栽培が盛んな町です。

主に「地場産業・特産品の振興について」



◆ 飯島町視察 信州里の菓工房 ◆

研修しました。

今日の農業は、多様で創意工夫のある農業が求められている。消費者・実需者の意向を受けた地域ぐるみの農産物生産、高付加価値と有利販売の求められる農業の展開が必要であることから、これらへ対応するため、当町では新たな農産物づくりとして、町ぐるみで「栗の栽培」を取組み、昭和61年に設立した飯島町営農センターで売れる農産物づくり・競争力のある栗の産地化を推進した。栗栽培農家、関連事業者が構成員となり平成20年に(株)信州里の菓工房(栗加工販売施設)を設立し平成21年にオープンした経緯でした。本町農業の6次化を促進するうえで大変参考になりました。

林道飯豊檜枝岐線・一の木線 開 通

平成25年6月15日待

望の置賜・会津をつなぐ林道の開通式典（交通安全祈願祭・開通式）が林野庁長官、山形福島両県知事、両県選出国會議員、県議会議長ご臨席のもと、飯豊町長、喜多方市長、喜多方市議會議員・飯豊町議會議員他多数の関係者が出席し飯豊トンネル口広場において行われました。雨天の中、飯豊権現太鼓保存会による郷土芸能披露があり、式典を盛り上げていただきました。

林道飯豊檜枝岐線・一の木線は、飯豊町を起点として福島県喜多方市山都町に至る幅員7m、総延長13・8kmの幹線林道です。昭和53年から平成24年までの34年の歳月をかけ、約105億2千百万円の事業費で工事が完成

しました。

開通により、両県の森林整備の一層の推進や災害時のライフラインの確保、集落間のアクセス時間短縮による交流人口の拡大など、特に置賜と会津との文化・経済交流や観光面の懸け橋として、地域活性化や振興が図られるものと期待されます。町民の皆様には是非足ののばしていただきたいと思えます。



◆ 開通式 テープカット ◆



交流深まる記念祝賀会（山都体育館）

式典終了後、山都体育館において実行員会主催の祝賀会が開催されました。全議員で出席して「山形と福島をつなぐうた声」として、飯豊町女性合唱団・男性合唱団による歌声が披露され、祝賀会に花を添えていただき会場から盛大な拍手があり、交流を深めた有意義な祝賀会でした。

編集後記

着工から35年を要した林道の開通。議会だよりも本号が150号になる。通常は年4回の発行。

初版から30年以上経過したことになる。町民の皆様にあ読して頂けるようお願い、発行に取り組み熱意は先輩議員から引き継ぎ今日も止まない。

正に継続は力なり。
(山口 記)

発行責任者

議長 菅野富士雄

広報委員長

嶋貫 栄助

副委員長

後藤恵一郎

委員

山口 文隆

鈴木 敏夫

船山 清一

長沼 安義